陽東地区広報紙

# かけはし

（題字・佐々木英明氏）

第54号
発行日：令和8年9月30日
発行元：陽東地区まちづくり協議会
〒321-0904
宇都宮市陽東2−16−36
（陽東地域コミュニティセンター内）
TEL/FAX 028(662)6269
E-mail：yoto_com@flower.ucatv.ne.jp
ホームページ

## 陽東地区の人と人、心と心の「かけはし」に…

## 都市型水害に備え、ハザードマップなどの防災情報を確認しましょう




宇都宮市「内水ハザードマップ」より

防災ハザードマップ

〔注〕「浸水深の区分」は、想定される最大規模の降雨（1時間に150㎜の降雨）が発生した場合に床下以上の浸水が想定される区域です。

ゲリラ豪雨、線状降水帯、記録的短時間大雨情報、警戒レベル5・・・。

この夏は連日のように、各地で大雨、浸水の災害が起きました。特徴的なのは、短時間の大雨で下水道や用水路等が排水能力を超え、道路等に水が溢れ出す「内水氾濫」による都市型水害が頻発したことです。最も被害が大きかったのは8月の千葉豪雨ですが、県内でも7月の大雨で、足利市では広い範囲で道路が冠水し、動けなくなった車両のレッカー移動が約300件ありました。

短時間豪雨など予測困難な災害から自分の身を守るには、日頃からハザードマップ等の防災情報を確認しておくことが大切です。宇都宮市は、内水による浸水が想定される区域等を示したハザードマップを公表しています。「冠水地帯」と言われる陽東4丁目の鬼怒通りには、道路監視カメラと四カ所の「冠水標」が設置されています。陽東1丁目付近の越戸川では度々溢水が起きるため、河川監視カメラ・水位計が設置されています。これらの監視カメラのライブ映像はスマホで簡単に確認することができます。

●浸水多発箇所（実績）　△水位計（四ケ村橋）
監視カメラ
（陽東4丁目 鬼怒通り、陽東1丁目 越戸川 四ケ村橋）




陽東4丁目鬼怒通り

道路監視カメラ
（ライブ映像）

住んでよかった　ずっと住みたい　このまち　陽東

# “陽東夏まつり”大人気！ 昭和レトロの手作りアミューズメント



初公開！㊙陽東の館（やかた）の舞台裏




入口には長～い行列が出来ました

7月26日（日）、陽東夏まつりが開催されました。天候が心配でしたが、幸い予定どおりすべてのプログラムが実施できました（閉会直後に大雨になり、片付けは翌日に延期になりました）。

会場で子どもたちに一番人気だったのは、今年も「お化け屋敷（陽東の館（やかた））」と「ゲーム館」でした。

## 生誕20年を超えるお化けたち

陽東の館のお化けたちは、年を経るごとに迫力が増して、子どもたちを恐怖に陥れていますが、それもそのはず、古いものは生まれてから20年以上も経っているのです。原山茂和さん（夏祭り実行委員会委員長）など5～6人の有志が中心になって、美容院を経営していた方から譲り受けた練習用マネキンなどを手作りでお化けにリメイクしたそうです。

お化けたちは普段は陽東の秘密の場所で待機していますが、昼間に見てもドキッとするほど怖いです。



出番を待つお化けたち（陽東・某所）

## H&Hさん共作のレトロゲーム

昭和にタイムスリップしたような昔懐かしのゲームで子どもたちを虜（とりこ）にしたゲーム館。ゲーム機はすべて手作りで、原山茂和さんのユニークなアイデアを基に、原山さんの友人で〝工作名人〟の平山徹さんが数々のゲーム機を完成させました。平山さんは、昨年の夏祭りでは会場で活動されましたが、昨年の9月、76歳で惜しまれつつ逝去されました。

心よりご冥福をお祈り致します。



射的（１回輪ゴム３本）



ビンゴゲーム

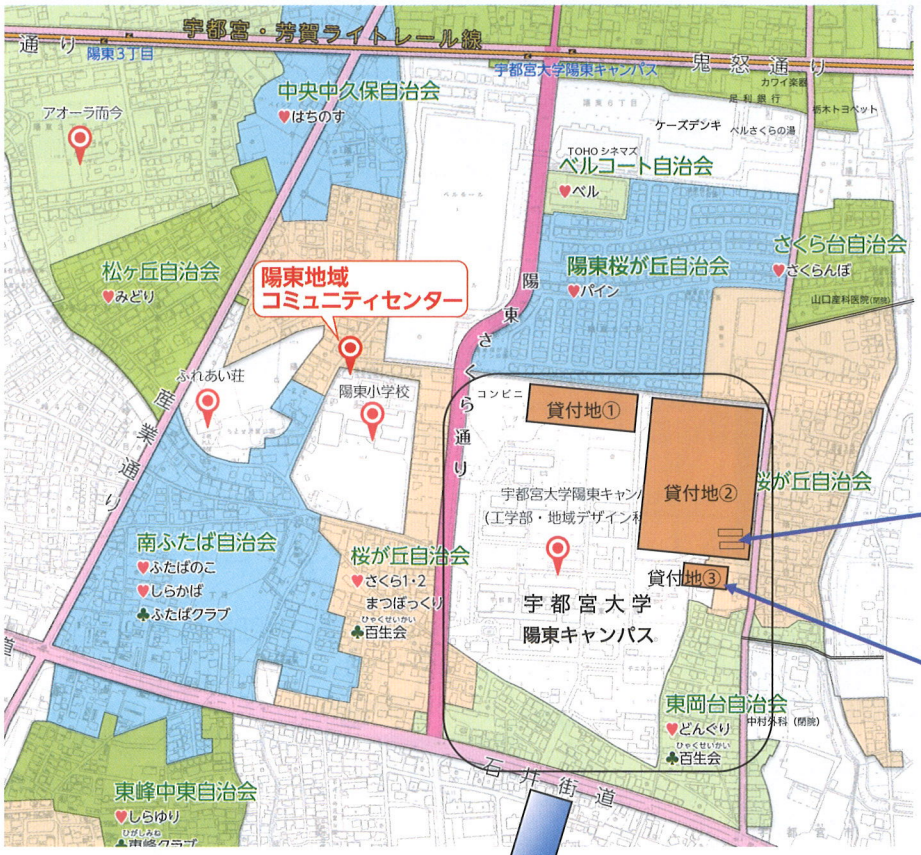


釣りゲーム

撮影：陽東地区まちづくり協議会広報担当　加藤 弘

# 宇都宮大学「陽東地区土地貸付事業」
## ～陽東キャンパス内に複合施設を整備する計画が進められています～

宇都宮大学では、大学が所有する当面使用予定のない陽東キャンパスの土地を民間事業者へ貸し付け、長期的かつ安定的な収入を確保することで教育研究活動の一層の充実を図ることを目的に「陽東地区土地貸付事業」に取り組んでいます。今年2月に株式会社ベルクとの間で基本協定を締結し、商業施設やアパート等の複合施設の整備に向けて協議を進めています。施設の内容やスケジュール等の詳細はまだ未確定ですが、施設の完成は令和10年春頃を目途にしているそうです。施設の建設に先立ち、キャンパス東南にある旧クラブハウス等の解体工事が行われています（工期：令和8年8月～10月）。









RC宿舎

＊令和9年以降に解体する方向で協議中



クラブハウス

令和8年8～10月解体工事実施

【貸付用途等】

貸付地①　：一般向けアパート（約7,773㎡）

貸付地②　：商業施設・医療施設等（約39,734㎡）

貸付地③　：学生向けアパート（約3,062㎡）




貸付地②　商業施設等の完成予想イメージ

＊今後の経済情勢及び関係諸官庁との協議等により変更となる場合があります。

## 陽東の気になるスポット“これはなに？ なぜここに？”〔シリーズ⑨〕

# 陽東の歴史を伝える『四ケ村橋（しかむらばし）』



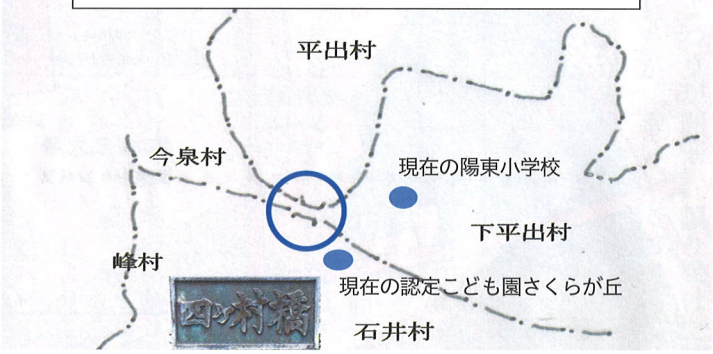


四ケ村橋（後方は河川監視カメラ・水位計）


R8.9.7 AM8:30 ライブカメラの映像

河川監視カメラ
（ライブ映像）

明治22年（1889年）町村制施行以前の周辺図




陽東小学校の南西近くに「四ケ村橋（しかむらばし）」という、越戸川に架かる変わった名の小さな橋があります。目立たないので橋があることさえ知らないという方もいらっしゃるかも知れませんが、この橋の名は、陽東地区の成り立ちの一端を伝える、いわば〝無形の歴史遺産〟なのです（漢字とひらがなの「橋名板」があります）。

陽東地区は、昭和29年以前は宇都宮市ではなく平石村の一部でした。平石村が誕生したのは明治22年ですが、平石村は、石井・平出（上・下平出）・峰など七つの村が合併してできた村でした。平石村になる以前、この橋は、平出村・今泉村・石井村・峰村の四つの村の境界と接する連絡橋で、そこから「四ケ村橋」という名になったそうです。交通の要衝として、当時は人々の往来も多かったのかも知れません。

越戸川は、元々は農業用水でとても狭い川ですが、急激な都市化によって多くの雨水が流れこむようになったため、四ケ村橋の付近では大雨時にたびたび溢水が起きています。宇都宮市は令和5年に「河川監視カメラ・水位計」を設置。現在、令和12年度の完成を目指して越戸川バイパス整備事業が進められています。